



議会だより

No.143
令和6年4月25日

松崎

【中川三聖 青空露店市 まつり】



議会だより、画は松
崎町議会事務局
でも視聴可能
です。



the most beautiful
villages
in japan

松崎町は「日本で最も
美しい村」連合に加盟
しています。

《主な内容》

第1回定例会 (3月6日～3月13日)

- 令和6年度当初予算.....2
- 令和5年度補正予算.....6
- 町政を問う 一般質問に6議員.....10



予算総額44億8100万円

将来像「ここでは、誇り高く、穏やかに、豊かに生きられる」に向けたまちづくり

令和6年第1回定例会が、3月6日から13日までの6日間で開催されました。町当局からは、条例が14件、令和5年度補正予算8件、令和6年度当初予算10件、その他2件が提出されました。

令和6年度一般会計予算は、前年度比5億5,500万円増（14.1%増）の総額44億8,100万円となりました。

将来像に向けたまちづくりを目指し、以下の5本の施策の柱の具現化に取り組む予算が可決されました。

- ①だれ一人取り残されない、支え合いのまちづくり
(下田地区消防組合負担金・価格高騰重点支援給付事業など)
- ②だれもが夢を育み、実現できるまちづくり
(保育所実施委託・新共同調理場建設工事など)
- ③地域に根付いた産業が生まれ、経済がにぎわうまちづくり
(ふるさと納税推進事業・町有施設民間活力導入事業など)
- ④豊かな社会・自然環境を次代につなぐ、持続可能なまちづくり
(企業会計移行に伴う集落排水事業会計への補助・橋梁維持費など)
- ⑤コンパッションを共有し、“きょうどう”で進めるまちづくり
(新斎場整備事業・キャッシュレス決済システム導入など)

歳入

町税前年度比579万円減
(歳入全体の1%)

固定資産税の減が影響

問 固定資産税の予算の中に特定空家増税分は含まれているのか。

答 窓口税務課長 松崎 町は空家計画が策定されていないので含まれていない。地価の下落の3.1%減と家屋の評価替えの影響で減少している。

問 産業建設課長 募集しても申し込みがない状況。空き部屋が多くなっている。

問 長八美術館の入館者を前年より多く、2万人見込んでいる理由は。

答 企画観光課長 美術館は開館40周年年なので、記念イベントなどにより増員を目指す。

問 学校給食納付金は学校の私会計から役場の公会計に移し、条例整備などとしていくのか。

答 将来的に無償化は考えていないのか。

問 令和6年度は給食会計を公会計に取り込み、徴収や納付の管理を含めた公会計への移行は令和9年度以降となる見込み。無償化には調査が必要。

問 町営住宅使用料が年々減少しているが、どのような理由が考えられるか。

答 ふるさと納税は近隣市町と比べ納付額が少ないが、増やす方法は考え

問 伏倉橋補修工事や給食センター整備などのため、町債が3億5770万円あるが、将来に負担をかけていくものにならないか。

答 総務課長 交付税に措置され減る分もあるが、将来負担は今後、増加していく傾向にある。



歳出

新給食センターなど
義務教育施設整備費に3億3601万円

問 宝くじ助成を活用したコミュニティ活動助成事業補助金はどのようなものを整備するのに使われるのか。

答 企画観光課長 西区のイベント備品、物置、投光器、発電機整備にかかる費用になる。

問 地方創生人材支援で2人の予算をとっているが1T関係のほかはどのように考えているか。

答 副町長 1人は町の振興と関係人口づくりを考えている。デジタル人材は、町のDX推進全般について2年間働いていただく。

問 隊員増で地域の活性化も見込まれる地域おこし協力隊の予算は、一人当たり上限480万で算定していくことはできないか。

いのか。

答 町長 財源として特別交付税があるが、全て充当されるとは限らない。協力隊の増員は理想だが、町からのきめ細やかな支援ができない場合も出てくる。

問 児童館費が前年度比806万円増となっているが、職員の配置を厚くしたのか。放課後児童クラブの対応は改善したのか。

答 健康福祉課長 正規職員が少なく難しかったため会計年度任用職員で対応を考えている。放課後児童クラブも午後6時半までの見直しを予定している。

問 キャッシュレス決済システムの導入とはどのようなものか。

答 窓口税務課長 現在、窓口で証明書などの手数料支払いが現金のみの対応だが、クレジットカード、電子マネー、QRコードでも対応する。令和6年10月を目標に導入予定。

問 棚田保全活用事業が実施計画より増えているが、どのような原因か。

答 企画観光課長 運営費補助、イベントなどのソフト関係、待避所の整備などを予定している。

問 災害対応備蓄品を置く場所が切迫していると思うが、遺体収容所関係の消耗品は、どこに設置していくのか。

答 窓口税務課長 消防防災係と調整して設置場所を決めていく。

問 地域包括支援センターの予算が減額になっているが、何かシステム構築など意欲的な予算はとれないのか。

答 健康福祉課長 委託料などが減となり、予算的に増はないが、新規に高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を行い、通いの場などで活動する方の情報交換を行い、いろいろな施策を考えていく。

問 带状疱疹ワクチンの予防接種の内容は。

答 健康福祉課長 費用のうち、生ワクチンの場合は4千円を年1回、不活化ワクチンの場合は4千円を年2回助成する。

問 南伊豆地域清掃施設組合負担金と清掃施設設置地区地域活性化交付金について、地元雲見区への説明は。

答 生活環境課長 広域ごみ処理施設の建設が2年延長したことに伴い、雲見区役員と打ち合わせをしており、説明会の実施を調整中。

問 さざえ放流事業とあ

るが、現状は磯焼けが激しい。行政の対策はどのようなにしていくのか。

答 産業建設課長 他市町も黒潮大蛇行が原因の被害を受けており、広域的な課題として国などへ改善を要望していく。

問 一部事務組合下田メディカルセンター負担金の内訳は。

答 健康福祉課長 旧湊病院の解体にかかる費用。その後の活用にかかる費用は含まれていない。

問 重文岩科学校の予算が2年間にわたり500万円ほど追加されている理由は。

答 企画観光課長 美術館も含めて人件費は上がってきている。こて絵や重要文化財を保存継承していく責務もあり、誘客だけではない部分も職員に求めている。令和5年度からは、学芸員を入れて

問 町有施設民間活力導入調査業務委託はどのようなものか。

答 企画観光課長 行政所有施設3施設程度を調査して、民間への委託が前提ではなく、民間も含めた施設の運営などを検討していくもの。

問 旧依田邸の管理運営費に建物解体費用があるが、今後の解体計画は。

答 企画観光課長 雨漏りがひどい1棟を解体する。鉄筋コンクリート建物は数億円となるので、解体は難しい状況。

問 スマートロック導入業務委託とは。

答 教育委員会事務局 現在、勤労者体育館などを借りるときは、役場で鍵を借りて、料金は現金払いしているが、予約、鍵の解除・施錠、決済までの一連の流れをスマホなどを使いオンラインにより完結するシステムを導入していくもの。

問 中川資料館解体工事とあるが、保存してあるものや跡地利用は。

答 教育委員会事務局 重要な保存物は既に運び出している。聖和保育園があり通行量も増えているので、解体後用地は道路用地として整備する。

問 伏倉橋の補修工事とあるが、鮎川が整備され、大型車も通る機会が増えた場合の対策は。

答 産業建設課長 10トン車は通行できる状態だが、拡幅は困難なので回りやすいよう対策を検討している。

国民健康保険会計

予算総額9億5431万8千円（前年度比306万円減）となった。歳入では、被保険者の減少に伴い国民健康保険税を1億4309万9千円とし、保険給付費の増額などにより、県支出金が7億2032万8千円、

一般会計からの繰入金は6495万6千円とした。歳出については、保険給付費を7億509万9千円と見込み、県への納付金は、2億66万4千円となった。また、諸支出金は、保険給付費償還金の増額などにより1356万6千円とした。

問 マイナンバーカードでの受診が進めば保険証を送らずに済むようになるのか。

答 健康福祉課長 今年の7月に有効期限が1年間の保険証を送付する。令和7年8月以降も保険証に変わる資格確認書の送付が必要になる。

後期高齢者医療会計

予算総額1億3917万4千円、（前年度比1102万2千円増）となった。歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料を9561万5千円とし、一般会計からの繰入金は4

342万9千円とした。歳出については、静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金1億3601万3千円がほとんどを占めている。

問 2年に一度保険料の改定があるが、町はどのような関わりがあるか。

答 健康福祉課長 静岡県内市町が後期高齢者医療広域連合に加入し、その議会で保険料改定が審議される。

介護保険会計

予算総額9億8600万円、（前年度比1390万円減）となった。歳入は、介護保険料を1億7655万円とし、国県支出金2億5561万8千円、支払基金交付金2億5645万5千円、県支出金1億4316万7千円、繰入金は1億443万9千円とした。歳出については、総務費1145万円、保険給付費9億2288万8千

円、地域支援事業費5018万2千円などを計上した。

水道事業会計

収益的収入及び支出予算において、給水収益は前年度決算見込額の98%を見込み、動力費高騰などに伴う資金不足対応として一般会計からの補助金を3800万円計上した。また、事業収益を1億7692万6千円、事業費用を1億5269万2千円としたため、税抜きの当年度純利益を2003万9千円とした。資本的収入及び支出予算において、収入予算に建設改良費の財源として、温泉事業会計借入金3745万7千円、宇治橋配水管布設工事繰入金554万3千円を計上、支出予算に、石部地区水道施設改良工事700万円、宇治橋配水管布設工事800万円などを計上した。

問 水道料値上げもやむを得ない状況だと思いが、令和7年度予定の改定はいつわかるのか。

答 生活環境課長 公営企業委員会の開催も関係するが、令和6年9月議会には示していきたい。

温泉事業会計

収益的収入及び支出予算において、供給収益を前年度決算見込額の99%を見込み、事業収益を6013万9千円とした。事業費用を4924万3千円としたため、税抜きで当年度純利益を1057万5千円とした。

資本的収入及び支出予算において、収入予算として、加入金千円、支出予算として、水道事業会計貸付金3745万7千円、温泉施設改良整備工事(梓単)300万円などを計上した。

問 温泉管も地震で被災すると壊れると思うが、耐震化の方針は。

答 生活環境課長 経営戦略に基づき対応するが、耐用年数基準での工事をするより、修繕必要箇所への対応が基本となる。

伊豆まつぎ荘会計

収益的収入及び支出予算において、宿泊利用人数を前年度当初から200人増の2万2100人(宿泊利用率44.0%)とし、7月1日から宿泊利用料金の改定を行い、事業収益は3億9140万円、事業費用は3億6980万円としたため、当年度純利益を2079万2千円としたもの。

なお、令和6年度末末処分利益剰余金は△2億5829万3千円となる。

問 給料や物価も上がってきており相当な施策がないと黒字も難しいところがある。高い目標の宿泊利用者2万2100人をどう確保していくのか。

答 町長 民間活力の活性化を含めた調査をして

いるが、まつぎ荘にもポテンシャルはある。職員一丸となり、勉強会を行うなどして取り組んでいく。

問 町からの借入金金が4億8千万円あり、令和6年度は550万円返済する。このペースだと90年以上かかるが、今後の計画は。

答 企画観光課長 元金返済猶予が解除されると令和21年まで年間4千万円の返済が必要だが、現状ではかなり難しい。

集落排水3会計は、令和6年4月1日より公営企業会計適用となり、経営・資産状況を的確に把握した運営を行うことで一層の経営改革・健全化の推進を目指す。

岩地集落排水会計

収益的収入及び支出予算において、排水処理施設使用料429万3千円などを計上し、事業収益を1389万円とし、事

業費用を1399万円、税抜きの当年度純利益を千円としたもの。

資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金千円、支出予算として企業債償還金30万円を計上した。

石部集落排水会計

収益的収入及び支出予算において、排水処理施設使用料323万5千円などを計上、事業収益を1166万8千円とし、事業費用1176万8千円、税抜きの当年度純利益を千円としたもの。

資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金千円、支出予算として企業債償還金30万円を計上した。

雲見集落排水会計

収益的収入及び支出予算において、排水処理施設使用料901万円などを計上、事業収益を51

05万9千円とし、事業費用5115万9千円、税抜きの当年度純利益を千円としたもの。

資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金千円、支出予算として企業債償還金382万8千円を計上した。

問 使用料の決め方は、3会計はそれぞれいくらになっっているのか。

答 生活環境課長 使用料は、発足当初から消費税の改定を除いて行っており、1立方メートルあたり、岩地は196円、石部は198円、雲見は189円となっっている。



一般会計

補正予算(第8号)は、歳入歳出から1億1047万6千円を減額して、補正後の額を42億4649万3千円とした。

歳入の主なものは、町税、国の補正予算により再算定で追加交付された普通交付税などを増額。

一方、事業完了により国庫支出金、県支出金、事業費精査による過疎対策事業債などの町債、観光施設入館料などの使用料及び手数料などを減額した。

歳出の主なものは、戸籍附票システム改修業務委託、棚田地域振興協議会運営費に係る補助金、能登半島地震派遣に伴う下田地区消防組合負担金、財政調整基金積立金、自立支援給付費、買い物等支援事業委託などを増額するが、価格高騰重点支援給付金事業費、新型コロナウイルスワクチン接種に係る

感染症対策事業費、新共同調理場実施設計業務委託、森林環境譲与税に係る森林環境整備事業、環境センター・花の三聖苑・旧依田邸の指定管理委託を減額した。

また、歳入歳出差額の余剰金で取崩しを予定していた財政調整基金繰入金を減額した。

問 棚田保全活用で250万円を増額した理由は。

答 企画観光課長 人工の増や労務費のアップにより金額が上がっている。労務費を上げていかないと棚田の運営も人員確保が難しくなっていく。

問 森林整備現地調査等業務委託と里山林整備業務委託が削除されている経緯は。

答 産業建設課長 年度途中の退職者、中途採用などにより事業の実施が難しかった。来年度以降継続実施する予定。

問 自殺対策計画策定業務が340万円減額となっている。請負業者がいなく、職員が自前で作成したと聞いているが、その努力は称えるべきではないか。

答 健康福祉課長 現在策定中であるが、もうすぐ完成する予定。

問 財政調整基金積立金2千万円増額の根拠は。

答 総務課長 法令により剰余金の半分以上の積み立てをしなければならぬが、今回国から臨時財政対策債費が送金されたため、増額したものの。

国民健康保険会計

歳入歳出から1005万8千円を減額して、補正後の額を9億4857万4千円としたもの。

内容は、歳入において、被保険者の減少により国民健康保険税、繰入金、諸収入を減額した。歳出では、保険給付費、

保健事業費、諸支出金を減額とした。

歳入歳出の差額については、予備費を減額計上した。

問 特定健診の受診率は。健康福祉課長 特定

健診受診目標は60%だが、39%くらいしかなく低い。未受診者のタイプ別に受診勧奨をしている。

問 国民健康保険税の滞納繰越分の状況は。

答 窓口税務課長 前年度比で収納率は下がっており、総額も減っている。

後期高齢者医療会計

歳入歳出に60万1千円を追加して、補正後の額を1億2733万4千円としたもの。

内容は、歳入において後期高齢者医療保険料を増額、一般会計繰入金を増額とした。

歳出では、広域連合への納付金を増額とした。

介護保険会計

歳入歳出に3683万7千円を追加して、補正後の額を11億1400万8千円としたもの。

歳入は、国庫支出金、支払基金交付金の増額、県支出金、一般会計繰入金を減額した。

歳出は、地域支援事業費、総務費、基金積立金、予備費を増額、保険給付費を減額した。

伊豆まつぎ荘会計

収益的収入及び支出予算において、事業収益を宿泊料や食事料などの見込減により3070万円減額、事業費用を2100万円の減額としたため、

当年度純利益を320万円減額して867万3千円とした。

問 町発行の観光クーポンの利用状況は。

答 企画観光課長 11月1月で350万円分ほど利用があった。

集落排水3会計の令和6年4月1日からの公営企業会計適用に伴う、財政調整基金の廃止補正予算。

岩地集落排水会計

岩地漁業集落排水処理施設財政調整基金を廃止し、歳入歳出において、それぞれ財政調整基金繰入金および予備費を1370万6千円の増額補正とした。

石部集落排水会計

石部農業集落排水処理施設財政調整基金を廃止し、歳入歳出において、それぞれ財政調整基金繰入金および予備費を1078万3千円の増額補正とした。

雲見集落排水会計

雲見漁業集落排水処理施設財政調整基金を廃止し、歳入歳出において、それぞれ財政調整基金繰入金および予備費を474万円の増額補正とした。

条例

○地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

条項を引用しているものを整理する改正。

○松崎町犯罪被害者等支援条例の制定について

支援に関する基本となる事項を定めることにより、犯罪被害者等支援を総合的に推進し、誰もが安全・安心に暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的とするもの。

問 被害者情報の提供ルートや施策の内容は。

答 健康福祉課長 警察から窓口の健康福祉課に情報が提供される。被害遺族には30万円、1カ月以上入院の重傷病の場合、10万円の見舞金支給、その他町民への理解促進などとなる。

○松崎町公営企業会計職員定数条例の一部を改正する条例について

下水道事業の公営企業化に伴う改正。

○松崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

○松崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

○松崎町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について

以上3条例改正は、令和6年度から会計年度任用職員に勤勉手当を支給するための改正。

○松崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

事業運営にかかる記録媒体をさまざまな形の電磁的記録媒体に改め、インターネットを利用し公衆の閲覧も可能としていくための条例改正。

○松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について

令和6年度から令和8年度までの事業計画期間で、65歳以上の高齢者に係る介護保険料の改正。

国が示す標準段階が9段階から13段階に多段階化された。

問 低所得者層は安くないのか。

答 健康福祉課長 1から3段階は減額されているが、10から13段階は増額となる。

○松崎町漁港管理条例の一部を改正する条例について

参照法改正による改正。

○松崎町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

大人および小人の宿泊料を550円（税込）、食料（夕食）を1100円（税込）の計1650円を増額。電気代、原材料価格など

どの高騰が続く、施設も建設から18年が経過しているため、維持管理費用へ充てていく。

問 料理改善のスケジュールは。

答 企画観光課長 メイン料理の改善を考えている。朝食バイキングもマンネリ化しているので工夫していく。

問 リピーターが多いのがまっさき荘の強みだが、値上げの反応は。

答 企画観光課長 今回で2回目だが、1回目では特にクレームは受けていない。

○松崎町地域交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

地域交流館「浜丁」の茶屋の使用料設定と蔵の使用料を改正。

○松崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例について

水道法改正に伴う改正。

○松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

災害等に対する損害補償に係る補償基礎額の改定を行うための改正。

第1回臨時会
(1/19)

◎松崎町課等設置条例の一部を改正する条例について

企画財政課の設置により、町長の指示事項や他課との調整を円滑にし、総合計画と財政を同じ課にすることで、事業進捗・予算管理を一体化・効果的にし、総務課の業務の削減と役場の働き方改革を推進する。業務・職員規模の多い企画観光課・健康福祉課などの分割により、課長のマネジメント充実などを目指す機構改革案。

反対討論

職員不足の状況の中、まずは計画的な職員の確保、事務の見直しに全力を尽くすべき。

職員数が変わらない中、課を増やすことは、係長職層が薄くなり、事務職が減ってしまうため、行財政の合理化・効率化に寄与するとは思えない。健康福祉課を2つに分けると業務の連携がなくなる。

賛成討論

行政調査委員会で承認が得られなかったのは残念。この体制で何人の職員が辞め、病んでいるのが心配。事業を見直さなければ職員の負担は変わらない。

◎松崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例について

本籍地以外でも戸籍証明書などの交付を可能にするための改正。

◎松崎町一般会計補正予算(第7号)

物価高騰対策プレミアム商品券事業経費として、歳入歳出に3125万円を増額し、補正後の額を43億5696万9千円とした。

◎松崎町水道事業会計補正予算(第3号)

収益的収支で消費税収入増および支出減。資本的収支で温泉会計より八木山浄水場設備費用借入れおよび改良費の増。

◎松崎町温泉事業会計補正予算(第3号)

資本的支出で水道会計への貸付支出増。

第2回臨時会
(3/29)

◎松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

松崎幼稚園の園長に正規職員を充てる体制へ変更することに伴う改正。

第1回臨時会・第1回定例会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第1回臨時会	議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度松崎町一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第2号	松崎町課等設置条例の一部を改正する条例について	○	○	×	○	×	×	×	否決
	議案第3号	松崎町手数料徴収条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第4号	令和5年度松崎町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第5号	令和5年度松崎町水道事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第6号	令和5年度松崎町温泉事業会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第1回定例会	議案第7号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第8号	松崎町犯罪被害者等支援条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第9号	松崎町公営企業会計職員定数条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第10号	松崎町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

賛成：○ 反対：× 欠席：-

賛否状況一覧

第1回定例会・第2回臨時会の賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	田中道源	小林克己	高柳孝博	藤井要	議決状況
第1回定例会	議案第11号	松崎町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第12号	松崎町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	松崎町税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第13号	松崎町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第14号	松崎町介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第15号	松崎町漁港管理条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第16号	松崎町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第17号	松崎町地域交流館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第18号	松崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第19号	松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第20号	令和5年度松崎町一般会計補正予算（第8号）について	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第21号	令和5年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第22号	令和5年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第23号	令和5年度松崎町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第24号	令和5年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第25号	令和5年度松崎町岩地集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第26号	令和5年度松崎町石部集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第27号	令和5年度松崎町雲見集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第28号	令和6年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第29号	令和6年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第30号	令和6年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第31号	令和6年度松崎町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第32号	令和6年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	令和6年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	令和6年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	令和6年度松崎町岩地漁業集落排水事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第36号	令和6年度松崎町石部農業集落排水事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第37号	令和6年度松崎町雲見漁業集落排水事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	公の施設の指定管理者の指定について（中瀬邸）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第40号	松崎町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
第2回臨時会	議案第42号	松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

賛成：○ 反対：× 欠席：-

町政を問う



危険な空き家への対策は



藤井 要 議員



問 危険な崩落家屋の撤去を

答 命を守る耐震補強を推進

問 能登半島地震で、家屋の倒壊や火災の恐ろしさを改めて思い知らされた。町内にはこれまで再三指摘してきた「崩落家屋」、「管理不全空き家」があり、災害時には倒壊し、道路閉鎖などで避難に支障をきたすと考えるが対策はしないのか。

答 (町長)

町内に危険な空き家が存在することは承知しているが、今回の惨事を目の当たりにし、一部の危険空き家より、命を守るための耐震補強の推進が必要と考える。国・県の耐震補助制度が令和7年で終了するので、耐震工事の広報にも努めていく。

問 災害時調理場の利用は

答 条件が整えば可能性も

問 伏倉地区に建設予定の学校給食共同調理場は、大規模災害時に、被災者に食事を提供することができるのか。

答 (教育長)

学校給食共同調理場の使命は、安心・安全な給食を子どもたちに届ける事であり、1日350食を提供できる施設である。災害時の活用は、学校の再開より早い時期に調理員の参集などの条件が整えば炊き出しなどできる可能性はある。

問 災害時に、高齢者や障害をお持ちの方の福祉避難所として、宮内区内にある旧山田邸を活用することが最善ではないか。

答 (町長)

町が指定している福祉避難所は、聖和保育園と松崎幼稚園の2カ所である。旧山田邸は「災害対策現地情報員」などの利用場所として考えているが、福祉避難所として検討していく必要もある。

問 松崎町の新たな観光場所として、外国人受けする可能性がある21世紀の森、長九郎山のシャク

ナゲ、烏帽子山などの再整備ができないか。

答 (企画観光課長)

2030チームと合同で町の自然・歴史・文化を生かした観光コースを定めたが、どのような形で観光客に魅力を伝えていけるのか、方法を検討しているところである。

問 避難所での弱者対策は

答 生活環境に最善の配慮

問 避難所での関連死をなくす対策、女性・子どもたちに対する配慮、ペットなどの持ち込みへの対応はできているのか。

答 (町長)

高齢者や災害弱者への対策として、専門職の派遣やベッド、間仕切り、トイレなど生活環境の変化に配慮した対策を立てている。ペットなどの持ち込みについては、災害対策ガイドラインにより対応するが、旧岩科小には保管場所を作っている。

問 想定以上の防災計画は

答 見直しを検討する



高柳孝博 議員



問 令和6年1月の能登半島地震の被災で、道路の寸断、孤立地区、想定以上の避難所の数と避難生活の長期化を鑑みて、今後の町の防災をどう考えるか。

答 (町長) ① 道路寸断時の孤立対策には、自衛隊に必要な支援を要請する。② 避難所外避難者の支援は、地区内の助け合いに協力をお願いしたい。③ 感染症対策は、感染

者に別の部屋を用意し、消毒薬などの活用により対応していく。④ 水道施設の耐震化については、配水池の耐震化、アセットマネジメントおよび経営戦略に基づいて優先順位をつけて行っている。⑤ 連絡手段として携帯が使えないときは、各地区の防災会長にデジタル簡易無線機や小型無線機、衛星携帯電話が配備されている。

⑥ 医療の確保については、あらかじめ災害拠点病院を指定し、重症患者の広域医療搬送体制や広域受援体制を整備することになっている。

問 被災時の教育確保のための追加施策はあるか。

答 (教育長) 分散授業や他の施設を間借りするなど授業再開に努めるが、広範囲に及ぶ場合は集団避難なども検討していく必要がある。

問 職員の働きがいは

答 業務の効率化で

問 職員のスキルアップとメンタルヘルス対策をどう考えるか。

答 (町長) ① チェックシート、アンケートの活用は、毎年のストレスチェックなどにより、その対応を分析している。② 自動化による業務の改善に、チャットボット

やAIなどの導入による省力化とワークライフバランスの考え方について、導入する場合はセキュリティ対策や利用に当たってのガイドラインが必要であり、デジタル技術の普及や業務の効率化が進み職員の業務量が軽減されワークライフバランスも充実すると考える。

問 DXの導入は

答 人材を育成する

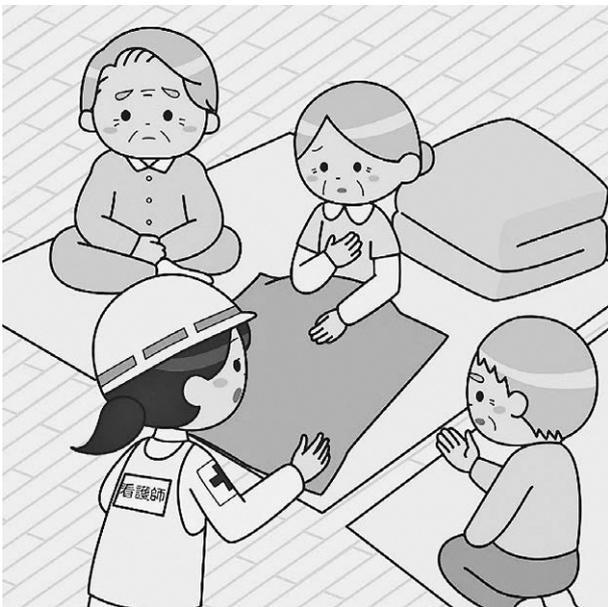
問 DXの導入をどう考えるか。

答 (町長)

① 人材の育成について、令和6年度は、地方創生人材支援制度を活用してデジタル専門人材を派遣していた。あくまでも予算化をした。

② 生成AIやチャットボット、オフィスボットなどのシステム導入の考え方については、どのような状況において導入する必要があるかも含めて今後検討していく。

多数・多様・長期の避難生活 医療、関連死対策は

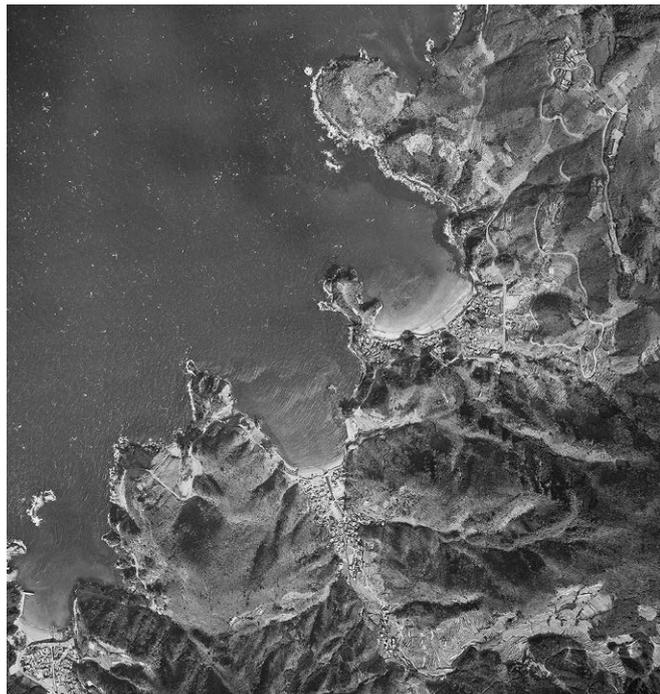


問 孤立集落対策の強化を

答 支援は考えていく



高橋良延 議員



孤立集落が予想される三浦地区

問 住宅の耐震化を進めるために、住居の一部を耐震化する耐震シェルターや防災ベッドの補助など町独自の対策が必要ではないか。

答 (町長) 多くの人命を救う必要性から検討材料になる。

問 災害時に孤立集落が予想される7地区(岩地・石部・雲見・八木山・池代・小杉原・門野)の自主防での備蓄状況や資機材の保有状況を町で把握し、必要量をしっかり確保すべきではないか。

答 (町長) 現在、町では自主防の状況を把握していない。備蓄用の倉庫などの整備や資機材確保のための支援は必要と考えている。

問 緊急物資の中で燃料の確保は大変重要である。町内のガソリンスタンドの被災リスクに備え、静岡県石油業組合との災害協定を締結することは

考えられないか。
答 (総務課長) 提案の燃料確保のための災害協定は、検討に値するものと思っている。

問 水道事業の財源確保は

答 令和7年度に料金改定

問 中川地区、松崎地区は水道本管改良工事が終わり、耐震管になっているが、岩科から三浦はまだまだ老朽管であり、耐震管への更新はいつされるのか。

答 (生活環境課長) 水道施設の耐震化は優先順位を付けて行っている。岩科から三浦の耐震化は、優先順位としては高いが具体的な更新時期は決まっていない。

問 水道管の耐震化や今後の設備投資に対する財源確保をどう考えていくのか。水道施設の耐震化を推進するために、水道事業へ町一般会計からあ

る程度の支援があつていいのではないか。
答 (生活環境課長) 経営の健全化を図るため、令和7年度当初には水道料金を改定(値上げ)していく。一般会計からの支援については、法令や他自治体の例に従って検討し、健全化を図る。

問 松崎新港の観光活用を

答 関係機関と連携

問 駿河湾フェリーやクルーズ船の誘致など松崎新港の今後の取り組みは。

答 (町長) 駿河湾フェリーは、季節的な活用として、下田の黒船祭や賀茂地区の花火大会、2月の河津桜の時期に松崎新港への就航が検討されている。また、東海汽船の高速ジェット船の東京く松崎間の臨時航路が検討されている。なお、管理する静岡県では、着岸用のフロート整備を予定している。

問 保育園待機児童の現状は

答 令和6年度は待機なし



田中道源 議員



問 移住者増加のために待機児童の対策を町として応援する考えはあるか。

答 (町長)

多くの方が移住するこ
とは町の活性化につなが
る。保育に関わる人材確
保が課題であるが、町で
も人材の情報収集し、保
育園へ提供していきたい。

問 保育園や幼稚園、小
中学校の給食でオーガ
ニック給食を導入する考
えはあるか。

答 (町長)

オーガニック食品は、
食の安全、環境に優しい
などのメリットがある反
面、価格が高い、収穫量
が少ないといったデメ
リットがある。給食費の
大幅な値上げについて、
保護者の理解を得ること
は難しいと考える。

問 井戸調査その後経過は

答 自主防災会に調査依頼

問 能登半島の災害を踏
まえ、井戸水の重要性が
再確認されたが、町とし
て今後どうしていくのか。

答 (総務課長)

年度内に自主防災会長
へ地域にある井戸の把握
を依頼し、その結果を踏
まえて対応を考えたい。

問 町内に7カ所孤立地
域があるとのことだが、
生活水確保用の井戸や沢
などがなく、ところに井戸
を掘るつもりはあるか。

答 (総務課長)

現在のところ、考えて
いない。

問 井戸の代わりに緊急
電源、ろ過装置を備えた
いわゆる青い消火栓を設
置する考えはあるか。

答 (総務課長)

確認して検討したい。

問 三聖苑の今後の計画は

答 具体的な計画は未定

問 ガソリンスタンド、

コインランドリー、パー
ベキュー、施設の整備、
民間宿泊施設の活用や耕
作放棄地を活用したドッ
グランなどの事業をして
はどうか。

答 (町長)

平時時において、民間
での経営が難しい施設を
町が整備することは現実
的ではない。道の駅の方
向性が決定していない中
で、ハード整備が必要な
事業は考えていない。

問 依田之庄の黒字化を
図るため、今後、指定管
理者を変更していく考え
はあるか。

答 (町長)

旧依田邸と依田之庄は、
電気や水道などの設備が
一体であり、現状では依
田之庄のみの指定管理は
難しいと考えている。黒
字化に向けての具体的な
提案があれば、可能性は
検討していきたい。



今後の道の駅の方向性は

問 松崎町公式ラインの活用を

答 デジタル人材の力を活用



藤井 昭一 議員



高齢者向けスマートフォン教室



松崎町でも高齢者のスマートフォン教室を開催してもらおうようお願いしました。ぜひご参加ください！お孫さんや子どもさんとラインができると楽しいですよ！

問 現在、利用されていない松崎町ライン公式アカウントの登録者が746人もいる。これを使うことで、さらに多くの利用者が増え、町民が喜ぶ情報発信ツールになると思うが、活用は可能か。

答 (企画観光課長)

今のところ、情報発信をする職員の対応が困難であると考える。

問 松崎町と人口・高齢化率がほぼ同規模の川根本町では、町の公式ラインに登録している町民が約4千人いると聞く。ラインクーポンなどのいろんな策を講じて、登録者を増やしているそうだが、当町も参考にしてみる価値はあると思うがどうか。

答 (町長)

ラインは防災の面でも大変役に立つと言われていて。令和6年度に来るデジタルの専門家の力を活用していく必要がある。

問 ラインを活用すれば

一気に町民のデジタル化が進むと考えるがどうか。

答 (町長)

町として将来必要な情報発信ツールを活用していくのは必要と考える。

問 高齢者の方がスマートフォンを使えるようになるために、スマートフォン教室の実施を。

答 (企画観光課長)

令和6年度は実施しない。

問 石部防災無線の状況は

答 改善に向け取り組み中

問 今年1月に業者が電波の調査をしたと聞く。その後、どのようなアクションを行ったか。

答 (総務課長)

石部地区の電波の状況は携帯電話でいうと、アンテナが1本立つか立たないかというような状況であった。同地区に回覧板を回し、受信機のアンテナを目いっぱい伸ばし、

山側地区に近い方に向けて設置してもらうよう呼び掛けをした。それで改善しないようなら屋外アンテナの設置、また、屋外拡声子局の設置も今後検討していき、問題解決に向けて進めていく。

問 富士宮市との交流は

答 今後の発展を

問 松崎町と富士宮市が令和4年に姉妹都市提携を結んだ。富士宮市との交流のための予算が計上されていないが。

答 (町長)

今のところ帯広や安曇地区とのような物産のやり取りは想定していないが、必要であれば予算計上は考える。

問 今後の交流はどのように進めていくのか。

答 (企画観光課長)

スポーツや防災、産業など多方面での交流を進めていきたい。

問 女性防災リーダー育成を

答 近隣と共同で開催を検討



菜野良枝 議員



問 平常時から意思決定の場に女性が少ないことにより、災害時に女性の意見やニーズが反映されず、必要な支援が提供されないことにつながる。県と市町が共同で実施する女性防災リーダー養成講座に手を挙げることはできないか。

答 (町長) 災害時には男性だけでなく女性の役割も非常に大きい。養成講座は必要であると考える。

多くの方に参加していただけるよう、近隣市町と共同での開催を検討したい。

問 能登での震災を受け、備蓄の見直しをする予定はあるか。

答 (町長) 1人当り3日間分の食糧6万食を目標として備蓄しており、女性用・高齢者用・乳幼児用の備蓄品も毎年購入している。昨年度からは、保存期

間の長いレトルト米や乳幼児・高齢者用のゼリーのほかにも乳児用の粉ミルクも含まれている。今後も必要となるものを購入していきたい。

問 現在、県に派遣している職員の経験を生かすことが男女共同参画の推進力になると思うが、どうか。

答 (町長) 当町から県の男女共同参画課へ1人の職員を派遣している。多くの知識を習得して戻ってくることを思っており、所属に限らず県で得た知識・経験を生かしてもらいたい。

問 地域包括ケア強化は

答 システム構築を目指す

問 システム構築のためには各機関や団体などとのネットワークを築く必要がある。民生委員向けの研修やハートアンドヘルプ事業に参加してもら

うための養成講座などを開催する考えはないか。

答

(町長) 民生委員やボランティアの協力も必要と考えている。今後、関わりについて検討していきたい。また、ハートアンドヘルプ事業に参加してもらうための説明会などの開催については、社会福祉協議会において事業の見直しをする中で検討していくものと考えている。

問 現在、社会福祉協議

会職員は全員が50代であり、新たな人材の育成が必要と考える。

西伊豆町では、福祉関係(社会福祉協議会)に地域おこし協力隊を配置しているが、わが町も同様の募集ができないか。

答 (町長) 長期的な雇用という観点から考えると難しい。正規職員を募集するのか、地域おこし協力隊で募集するのもも含め検討が必要。



令和5年度に購入した備蓄食糧

次の定例会は、6月4日(火)からの予定です。

議会のらごき

1月

- 18日 広報編集委員会
- 19日 第1回臨時会
- 25日 広報編集委員会
- 26日 賀茂郡町議会議長会議 (東伊豆町)

2月

- 1日 静岡県地方議会議長連絡協議会
第2回政策研修会 (静岡市)
議会だより142号発行
- 14日 静岡県町村議会議長会総会 (静岡市)
- 19日 下田メディカルセンター議会定例会
下田地区消防組合議会定例会
- 21日 南伊豆地域清掃施設組合議会定例会
議会全員協議会
- 26日 重要問題懇談会
- 28日 議会運営委員会・広報編集委員会
議員会勉強会

3月

- 1日 議員会勉強会
- 6日～13日 第1回定例会
- 18日 西豆衛生プラント組合議会定例会
- 29日 第2回臨時会

表紙の写真「中川三聖 青空露店市 まつり」は文化協会写真部より提供。



この人に
聞きました④
WEB制作業 なまごころ
伊東 亨さん

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、WEB制作や移住支援をされている伊東亨さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

平成29年に東京から家族で移住してきました。美しい自然と素朴なところに町の魅力を感じています。季節を感じるお花があちこちに活かしてある町に暮らせるなんてとて

も贅沢なこと。仕事は自営でWEBサイト制作や運用をしています。パソコン全般の相談や調査をご依頼いただくことも。移住定住促進協議会にも関わっており、移住ポータルサイトの運営や出張移住相談や現地案内、空き家情報の収集もしています。消防や地区の活動なども皆さんにお世話になります。

○課題や今後の活動は。

食や人・自然を起点としたことに挑戦したいと考えています。最終的にはいろんな生業で暮らしていきたいです。

○町への要望は。
子どもは町の未来そのもの。子育てにもっと予算をかけてほしいです。また、町内でお金を回す仕組みの一つとして、町内事業者が営利目的で回覧板を活用できるようにしてほしいです。

(聞き手 編集委員長)

発行責任者

議長 深澤 守

編集委員長

田中道源

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
高柳孝博
藤井要

海鳴り

現在の社会情勢は、第4次産業革命と呼ばれており、AIの進歩や技術革新により、18世紀後半の産業革命に匹敵する大規模な変革期にあります。

変革期においては、旧来の慣習にとらわれないで新しい価値を生み出す人材の育成が急務であります。第6次総合計画では、自ら学び、考え、判断し、「生きる力」を育み、家庭と学校、地域が連携して育むことが重要と示されています。

施策においては、西豆地区では、「西豆の子は西豆で育てる」を合言葉に、地域、学校、行政が中高連携型一貫教育を行っており、「西豆学」など一定の成果が出ておりますが、松崎高校の在り方も変わる中で、より一層の地域、学校、行政の連携強化が必要です。

(議長)